

目次

図面編集	2
図面編集出力	2
図面編集画面	3
図面の追加	3
図面への加筆	4
表示 / 非表示設定	4
線を選択削除	5
DXF/JWW データの取込み	6
図面レイアウト	8
図面の更新 (全体の変更)	9
図面の更新 (一部の変更)	10

図面編集

図面編集とは出力した図面を Walk in home の編集画面で編集する画面です。

編集したデータは設計図書と同様にレイアウトボードに反映できます。ただし出力までの流れは設計図書とは異なります。

図面データをたくさん編集する方、JWW など外部の汎用 CAD を使用しない方にお勧めです。

それでは図面編集の流れを見ていきましょう。

図面編集 出力

1「出力」から2「図面作成(一括)」を選択します。

3 出力したい図面にチェックを入れます。

+ 補足

緑枠が立面図でのオプション

青枠が平面図でのオプション

必要に応じてチェックを入れます。

4「OK」をクリックします。

「図面に加筆されたデータが消去されます。よろしいですか?」と聞かれるので初めて出力する場合や加筆していない場合は5「はい」を選択します。

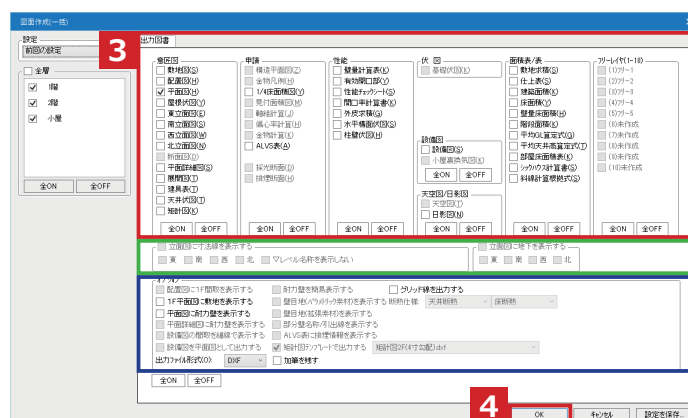
図面データが作成されます。

「図面一覧(作成済)」画面が表示されます。

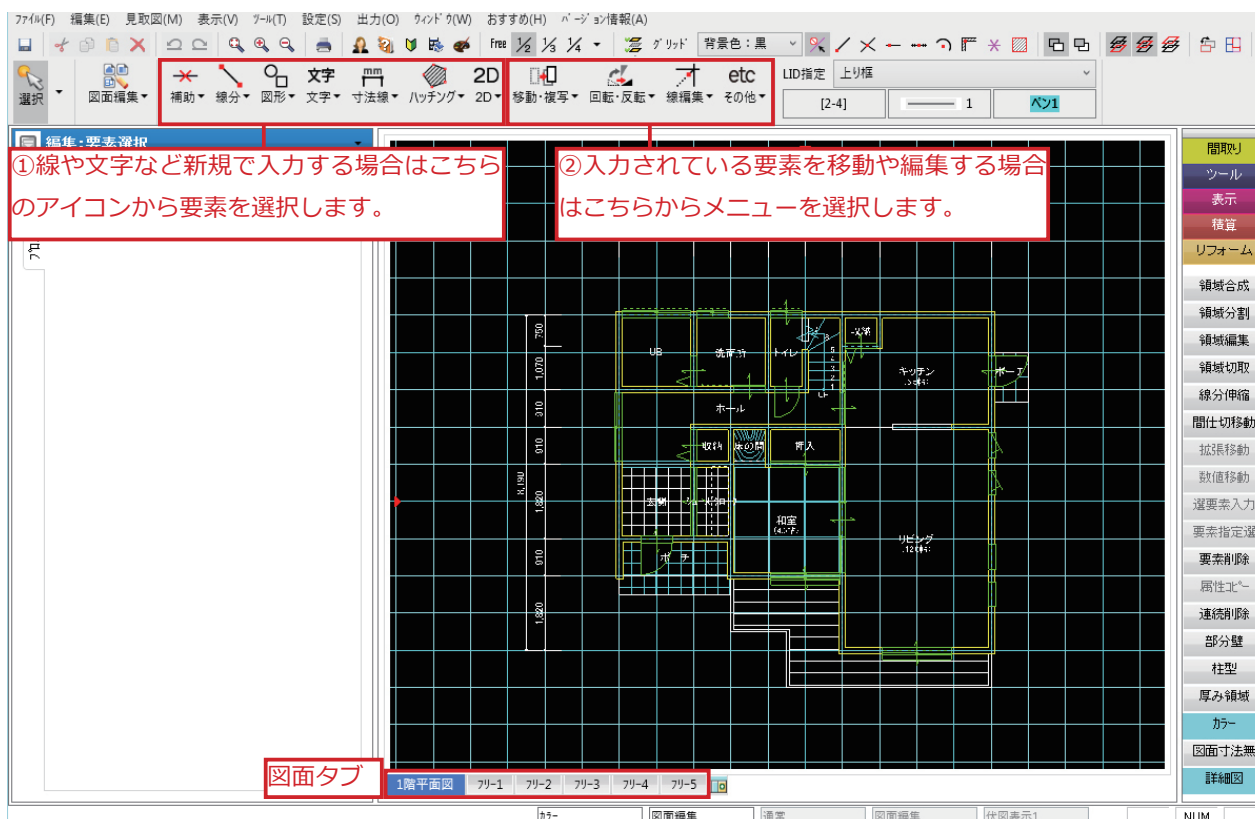
6 編集したい図面をクリックします。

7「選択図面を開く」をクリックします。

図面編集画面が開きます。



図面編集画面



図面の線や文字をクリックし、編集や消去できます。

線や文字を新規で入力する場合は①のアイコンから入力する要素を選択し、入力します。

入力されている線や文字を移動させたり、編集する場合は②のアイコンからメニューを選択します。

図面の追加

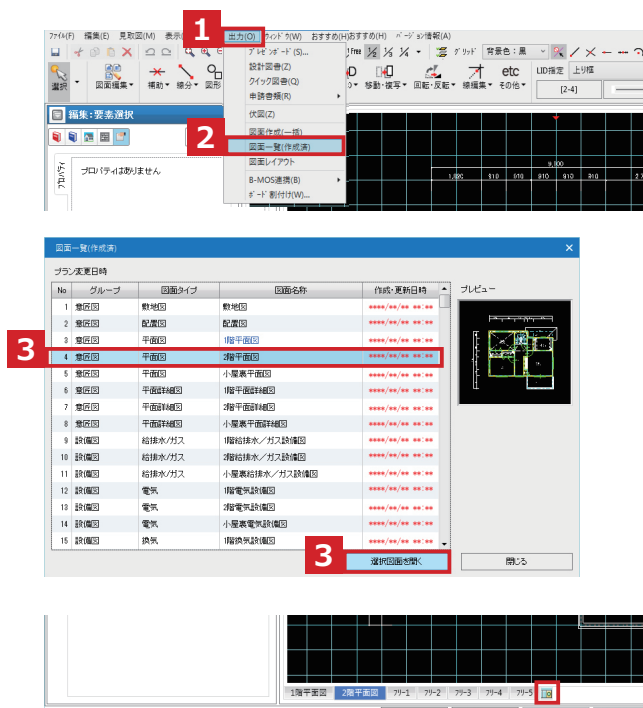
別の図面を編集したい場合は、1「出力」から2「図面一覧(作成済)」を選択します。

「図面一覧(作成済)」画面より、3次に編集したい図面を選択し4「選択図面を開く」をクリックします。

+ 補足

「」をクリックでも

「図面一覧(作成済)」画面が開きます。



図面への加筆

図面への加筆は1 大アイコンから要素を選択しそれぞれ入力します。

注意

図面への加筆する場合は「端点」
「交点」「線上点」などを押込んでおく
と編集しやすくなります。

また、1「青辞書」の2「設計」から3「図面加筆」にはよく使用する文字やマークをあらかじめ登録しています。

4 配置したい項目を選択します。

任意の場所に入力します。(5,6)

表示 / 非表示設定

1「レイヤ」をクリックすると、カテゴリ(レイヤ)ごとに線や文字を表示 / 非表示を設定できます。

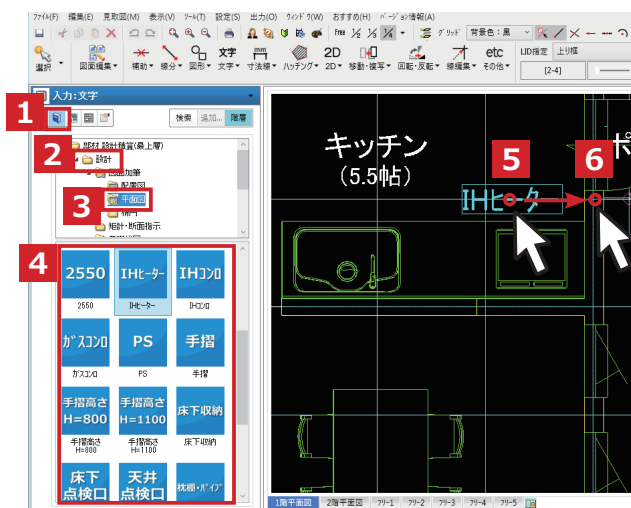
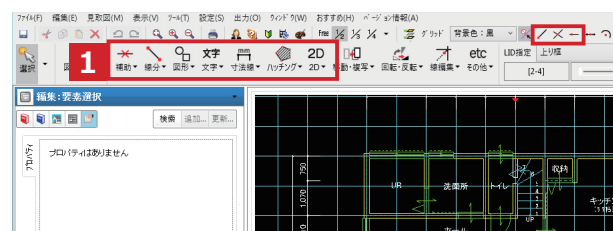
「レイヤ表示 / 非表示設定」画面でオレンジ色の項目が線や文字が入っているカテゴリ(レイヤ)です。

ボタンをクリックして「表示」「表示のみ(編集不可)」「非表示」が設定できます。

補足

表示設定を変更したい線をクリックすると、プロパティ画面でレイヤを確認できます。

レイヤ設定は印刷などにも反映されます。
作業中一時的に非表示にすることで作業しやすくなります。

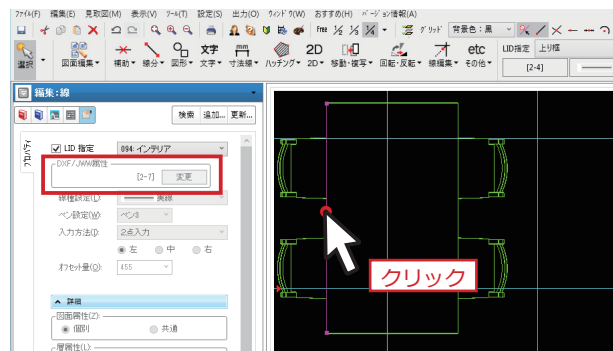
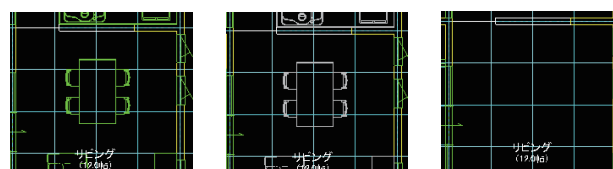


〈表示 (編集可)〉 〈表示 (編集不可)〉 〈非表示〉

[7] 家具

[7] 家具

[7] 家具



線の選択・削除

出力した線をレイヤごとにまとめて線種の変更や削除ができます。

1「図面編集」から2「下書き絞り込み選択」を選択します。

3「要素を選択する」にチェックを入れ、
4 選択・編集したい要素にチェックを入れます。

レイヤごとにまとめて選択する場合は、
5「DXF/JWW 属性」にチェックを入れ、
6「レイヤ指定」にチェックを入れ7「変更」をクリックします。

8 選択したいレイヤをクリックし、9「OK」を選択します。

10「選択」をクリックします。

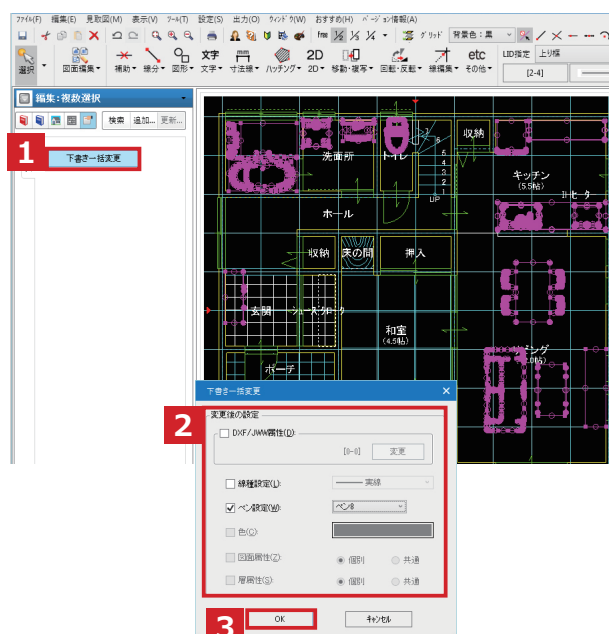
レイヤがまとめて選択できました。

+ 補足

レイヤだけでなくペン設定や線種などでもまとめて選択できます。

選択した線種やレイヤを変更する場合は、

1「下書き一括変更」をクリックします。
2 変更したい設定を選択し3「OK」をクリックします。



DXF/JWW データの取込み

通常の入力と同様に DXF/JWW の取込みができます。凡例や測量図・設備詳細など取込んでいきましょう。

1「2D」から2「DXF/JWW」を選択します。

3DXFの「…」をクリックします。

「開く」画面から4取込みたい図面を選択します。

5「開く」をクリックします。

読み込んだ際にサイズが違う場合は6「倍率」の数値を変更し調整します。

配置する前にレイヤを指定すれば他の線と同様に表示 / 非表示設定が反映されます。

「指定レイヤに取込み」の7「変更」をクリックします。

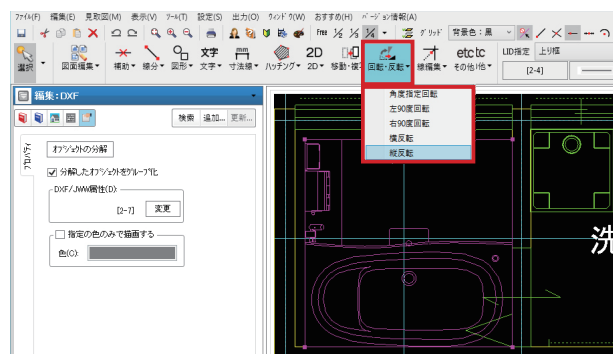
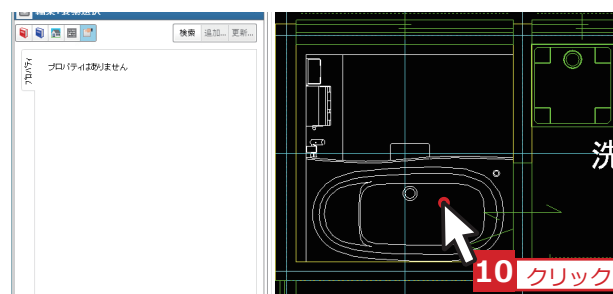
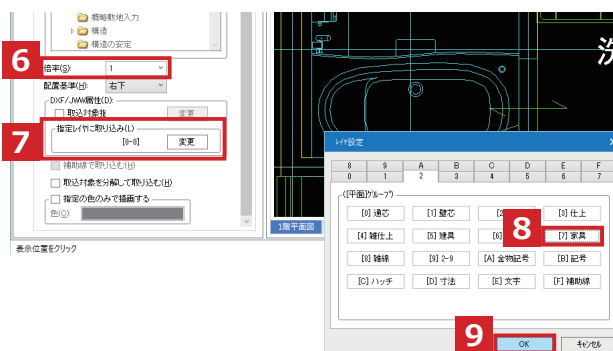
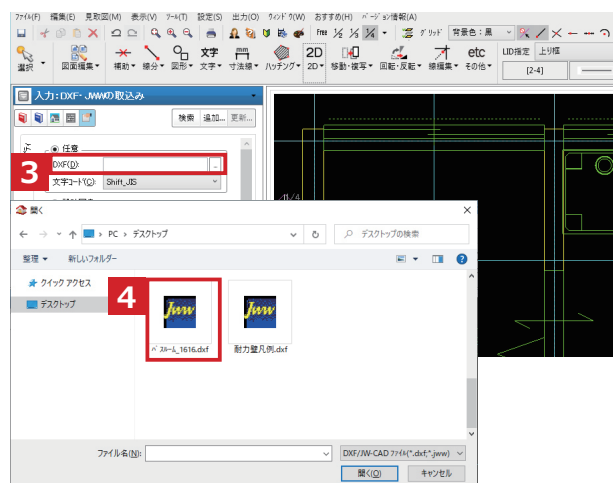
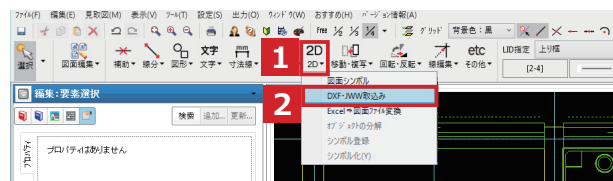
8 任意のレイヤを選択し、9「OK」をクリックします。

10 任意の場所にクリックし配置します。

注意

図面への加筆する場合は「端点」「交点」「線上点」などを押込んでおくと編集しやすくなります。

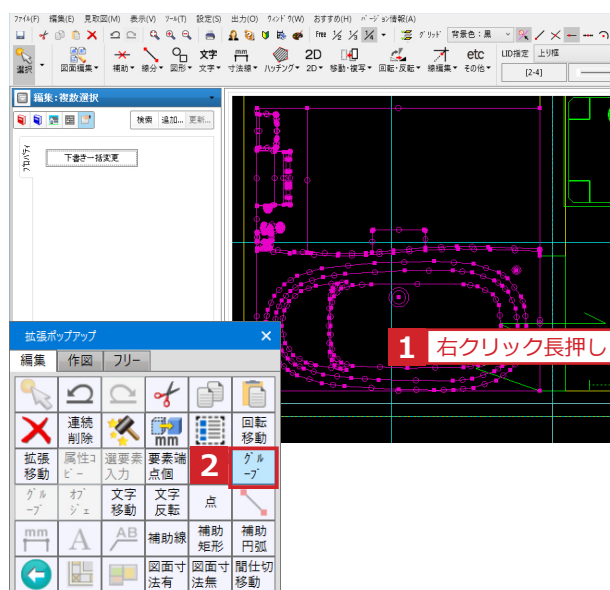
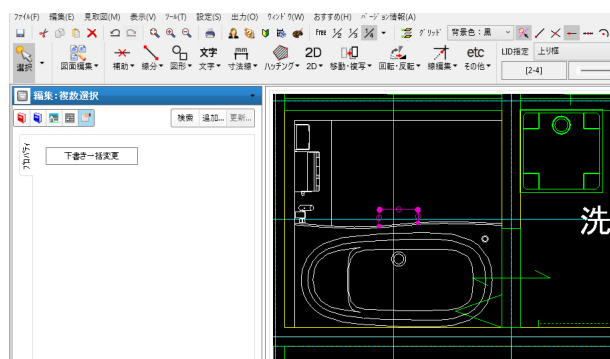
回転・反転が必要な場合は、配置したものを選択し「回転・反転」アイコンより編集します。



- 1 配置した図面をクリックします。
- 2 「分解したオブジェクトをグループ化」のチェックを取ります。
- 3 そのまま「オブジェクトの分解」をクリックします。

図面が分解され線や文字などを編集できるようになりました。

1 右クリックを長押しし、2「グループ」を選択します。



図面レイアウト

図面編集が終わったらレイアウトボードに配置します。

1「出力」から2「図面レイアウト」を選択します。

更新されたデータがある場合のみ、更新確認画面が表示されます。

編集した内容を反映させたい場合は3「はい」を選択します。

+ 補足

「いいえ」を選択すると1つ前の状態の図面が出力されます。

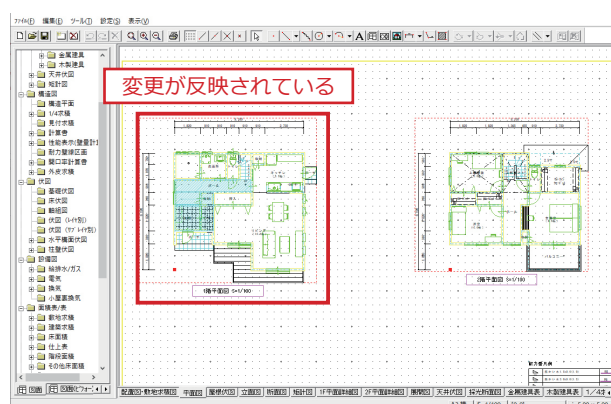
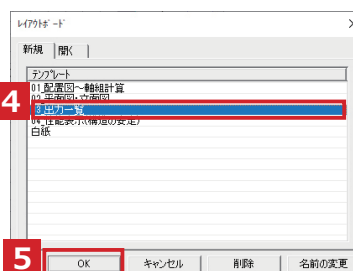
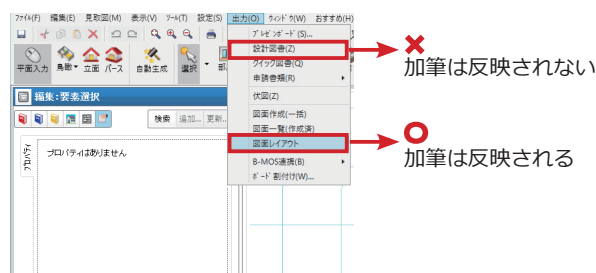
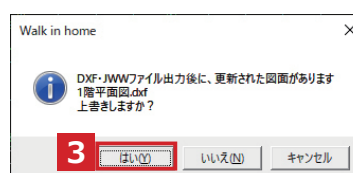
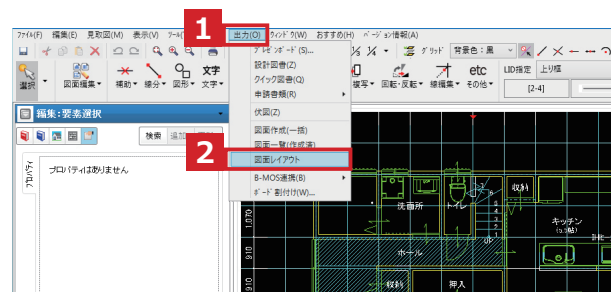
! 注意

出力するときに「設計図書」を選択しても加筆されたデータは反映されません。必ず「図面レイアウト」を選択してください。

「レイアウトボード」画面から4テンプレートを選択し、5「OK」をクリックします。

テンプレート画面が開きました。

レイアウトボードでの操作は設計図書と同じです。(詳細は設計図書編を参照ください)



図面の更新（全体の変更）

間取りを変更したい場合は、1 選択の「▼」から 2 間取り画面に戻ります。

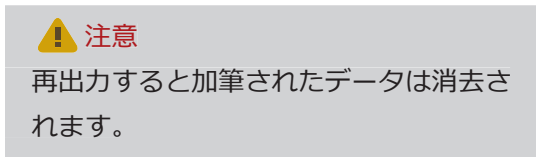
図面を再度編集したい場合は、同じく
3 選択の「▼」の 4「図面編集」を選択します。

間取りを全体的に変更した場合は図面を再出力します。

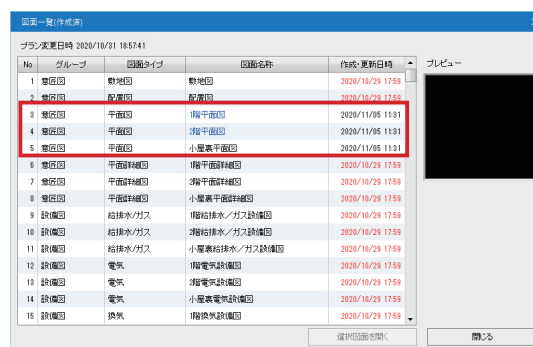
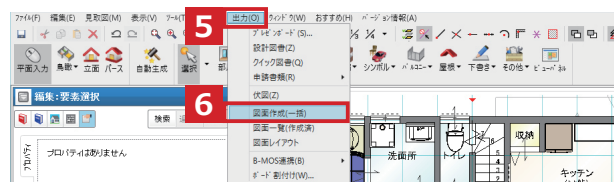
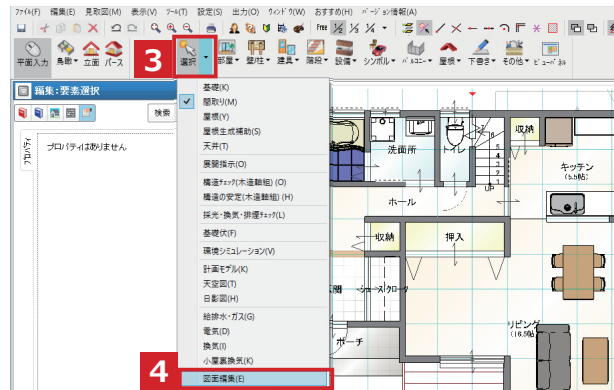
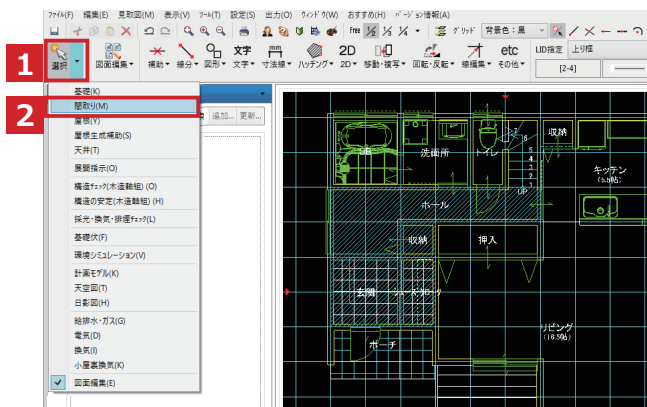
5「出力」から6「図面一覧(一括)」を選択します。

7 出力したい図面にチェックを入れ、8 「OK」をクリックします。

「図面に加筆されたデータが消去されます。
よろしいですか？」で 9「はい」を選択します。



再出力した図面は青く表示されます。



図面の更新（一部の変更）

間取りの修正が一部の場合は、変更した部分のみ更新できます。この方法であれば、変更していない部分での加筆は残ります。

1 間取り画面で修正を行います。

2「選択」の「▼」から3「図面編集」を選択します。

4「図面編集」から5「図面作成（部分）」を選択します。

変更した部分のみ囲います。（6,7）

「指定した領域に対して、図面の部分作成を行いますか？」画面で8「OK」をクリックします。

図面部分置換えが完了したら9「OK」をクリックします。

囲った部分のみ図面が更新されました。

範囲以外の部分は更新されませんので、加筆情報は残ります。

